平成28年第8回 三種町選挙管理委員会会議録

- 1 開催日時 平成28年10月7日(金) 午前9時
- 2 開催場所 三種町役場 第3会議室
- 3 出席委員 近藤 範夫、田村 明、川田 耕司、加賀谷 得子
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 書記長 木村 信悦、書記 石井 靖紀、清水 真門間 淳子、近藤 一仁
- 6 付議された案件は、次のとおりである。
 - 報告第20号 能代地区土地改良区総代選挙第6選挙区の当選人について
 - 報告第21号 裁判員候補者の予定者の選定について
 - 報告第22号 検察審査員候補者の予定者の選定について
 - 議案第41号 秋田海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の調製について
 - 議案第42号 秋田海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の縦覧場所について

午前8時55開会

木村書記長 おはようございます。若干時間前ですけども皆さんお揃いですので、平成28年第8回三種町選挙管理委員会を始めさせていただきます。始めに近藤委員長よりご挨拶をお願いします。

近藤委員長 おはようございます。だいぶ涼しくなりまして、稲刈りの方も大農家を残して殆ど終わっているようです。今日は5件程案件でございます。よろしくご審議をお願いしまして挨拶と致します。

それでは会議を進めさせていただきます。

本日の会議録署名委員の指名ということで、田村委員と加賀谷委員をお願いします。

それでは案件に入ります。報告第20号「能代地区土地改良区総代選挙第6選挙区の当選人について」ということで、事務局より説明をお願いします。

清水書記 はい。報告第20号「能代地区土地改良区総代選挙第6選挙区の当選人について」。

平成28年10月4日執行の能代地区土地改良区総代選挙第6選挙区において当選した者の氏名及び住所は次のとおりである。

説明致します。

9月の委員会でも説明致しましたが、任期満了に伴う能代地区土地改良区総代選挙が9月27日告示、選挙期日10月4日の日程で行われております。

9つの選挙区のうち、第6選挙区の区域が三種町内となっている関係で、この部分については三種町で選挙会事務を担当しております。

第6選挙区につきましては、立候補の届出が定数と同数のため無投票でございました。そこで、10月4日（火）に金陵の館で選挙会を開催し、ご覧の13名の当選を決定しております。

説明は以上でございます。

近藤委員長 はい。只今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

（「特にありません。」の声有り。）

近藤委員長 それでは、報告第20号を原案どおり承認してよろしいでしょうか。

（「異議ありません。」の声有り。）

近藤委員長 ご異議無いとのことですので、報告第20号を原案どおり承認することと致します。

続きまして、報告第21号「裁判員候補者の予定者の選定」と報告第22号「検察審査員候補者の予定者の選定」につきましては関連性がございますので、一括上程致します。事務局より説明をお願いします。

清水書記 はい。始めに、報告第21号「裁判員候補者の予定者の選定について」。

裁判員の参加する刑事裁判に関する法律第21条第1項の規定により、裁判員候補者の予定者を次のとおり選定した。

1 選定人数 22人

2 裁判員候補者予定者名簿 別紙のとおり

お手元の「報告第21号・第22号別紙」という資料をご覧ください。

1頁の「3 選定の結果（1）裁判員候補者予定者」。こちらが今回選定した22名でございます。

秋田地方裁判所から通知された本町の割当人数が22人でありまして、9月16日に1頁と2頁に記載の22名を選定しております。

選定の方法でございますが、裁判員については、衆議院議員の選挙権を有する者の中から市町村選管がくじで選定することになっており、裁判所から配付されたコンピュータ・プログラムを使用して、9月定時登録の選挙人名簿15,651人から無作為抽出を行っております。

続きまして、報告第22号「検察審査員候補者の予定者の選定について」。

検察審査法第10条第1項の規定により、検察審査員候補者の予定者を次のとおり選定した。

- 1 選定人数 84人
- 2 検察審査員候補者予定者名簿 別紙のとおり

「報告第21号・第22号別紙」の2頁(2)以降が「検察審査員候補者予定者」でございます。

今年の選定人数と致しまして、秋田検察審査会から昨年より1人少ない84人の割当が通知されております。選定の方法につきましては、裁判員と同様、コンピュータ・プログラムを使用して行っております。

議案の説明は以上でございますけれども、議案集の4頁をお開き願います。4頁から6頁にかけて、候補者予定者の選定の仕組みについて記載してございますので、簡単に説明を致します。

まず4頁の「1」としまして、裁判員制度、検察審査員制度の概要を記載しております。

次に、「2 資格等」でございますけれども、裁判員、検察審査員それぞれの資格要件等について記載しております。ご注意いただきたい点としまして、どちらも衆議院議員の選挙権を有する者の中から選定されます。従いまして、選挙権年齢の引下げが裁判員と検察審査員にも適用される訳でございますが、これについては、経過措置が設けられておまして、当分の間18歳から20歳未満の者は就くことができないことになっております。

今回のくじは、9月定時登録の選挙人名簿のデータを使って無作為抽出を行っておりますので、18歳から20歳未満の方が含まれてしまいますが、これについては、裁判所と検察審査会の方で確認しまして、最終的に消除されることになっております。

5頁の「3 候補者予定者名簿の調製」につきましては、先ほどご説明したとおりでございますが、検察審査員については6カ

月の任期で第1群から第4群まで21名ずつ選定することになっております。

それから「4 候補者予定者の取扱い」の「(1) 裁判員候補者予定者」でございます。市町村選管で選定した候補者予定者につきましては、翌年1年間の候補者として秋田地方裁判所の名簿に登載されまして、裁判員裁判の対象となる凶悪事件等が発生した場合に、1事件につき裁判員6人と補充裁判員がくじで選任されることとなります。

また、「(2) 検察審査員候補者予定者」でございますが、能代検察審査会の管轄内1市3町で合計400人の候補者が選定されます。その中から第1群から第4群まで任期6カ月でございますが、それぞれ5人乃至6人の審査員と補充員がくじで選任されることとなります。

6頁をお開き願います。

裁判員と検察審査員については、それぞれ辞退できる事由が法定されております。70歳以上の方、議会議員であれば議会中、学生、お体が不自由な方、介護者等につきましては、辞退の意思表示ができることになっております。

以上で、報告第21号、第22号の説明を終わります。名簿の確認と併せましてご審議の程お願い致します。

近藤委員長 只今の説明につきまして、候補者名簿も確認いただきながら、ご意見、ご質問等ございましたらご発言願います。

清水書記 補足でございますが、今年の20歳到達は平成8年生まれの方で、裁判員候補者予定者の7番は19歳です。市町村段階では20歳未満の人も選定されてしまいますが、最終的には裁判所又は検察審査会の方で除外されることとなります。

(各委員、暫時候補者予定者名簿を確認)

近藤委員長 中身を見ると、ご近所で候補者になっているケースもあるようです。

清水書記 くじの性格上そういうケースも出てきます。それから、選挙人名簿は行政区順に琴丘の鯉川の方から始まって最後八竜の芦崎方面という並びになっておりますが、コンピュータ・プログラムの関係で、群ごとにほぼ地区が固まってしまう傾向があります。

加賀谷委員 確かに名簿を見るとそうなっていますね。第4群はこちら方面の方ですし、第1群は琴丘地区の方ですね。

それから、かなり高齢の方も選ばれていますね。

清水書記 そういった方も特に除外はしておりません。職員の手が入ってしまいますと、くじの公正さがなくなってしまうので、そのまま提出することになっています。

近藤委員長 私も一度検察審査員に選ばれています。まだ、裁判員は無かった時代ですが。

近藤委員長 皆さん、報告第21号と第22号について、他にご質問等ございませんか。

(「特にありません。」の声有り。)

近藤委員長 それでは、本案を原案どおり承認してよろしいでしょうか。

(「異議ありません。」の声有り。)

近藤委員長 それでは、報告第21号と第22号については、原案どおり承認と致します。

続きまして、議案第41号「秋田海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の調製について」ということで、事務局の方より説明をお願いします。

清水書記 はい。議案第41号「秋田海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の調製について」。

漁業法第89条第1項の規定により、平成28年9月1日現在において調査した秋田海区漁業調整委員会委員選挙人名簿を別紙のとおり調製する。

お手元の議案第41号別紙が、9月1日現在で調製した選挙人名簿でございます。詳細については後ほどご確認いただくこととしまして、議案集8頁と9頁で、海区漁業調整委員会委員選挙の選挙権と名簿調製の流れについて、簡単に説明をさせていただきます。

まず、8頁の「1」。海区選挙権の要件でございますが、

- ①漁業者又は漁業従事者であること。
- ②その海区に沿う市町村に、住所又は事業場を有すること。県内では八峰町からにかほ市まで8市町が対象となります。
- ③1年に90日以上、漁船を使用する漁業を営み又はこれに従事すること。この3要件に該当していることが必要でございます。

なお、※印の欠格者でございますが、公職選挙法の改正によりまして、今年6月19日から選挙権年齢の引き下げが施行されておりますが、海区の選挙権につきましても同様でございますが、今回の選挙人名簿から18歳以上に引き下げとなっております。ただ、今回調製した名簿には該当ございませんでした。

次に、「2」の選挙人名簿調製の流れでございます。

①選挙権を有する者は、毎年9月1日現在の状況に基づいて、9月5日までに選管に選挙人名簿登載申請書を提出することになってございまして、町でもこの期間に申請書の受付を行っております。海区の場合は、原則として、選挙権がある人からの申告に基づいて名簿を調製致しますが、申請がない人につきましても、補充的に職権での登録が認められてございます。今回申請書の提出があった人が19人、その他、漁協の正組合員名簿をもとに職権登録した者が30人、計49人の登録となっております。

また、②市町村の選管は、有権者本人からの申請に基づき、9月1日現在で選挙権を有するかどうかを調査して、③毎年10月15日までに選挙人名簿を調製することとなります。

また、選挙人名簿調製後は、④10月20日から11月3日までの15日間、町役場等において縦覧に供することとなります。⑤縦覧場所については、告示事項となっております。

最後に、⑥でございます。選挙人名簿は縦覧に供した後、12月5日付けで確定します。そして、翌年の12月4日までの1年間据え置かれ、その期間、効力を持つこととなります。

参考までに、合併した平成18年から今年まで11年間の選挙人名簿登録者数の推移を記載してございますが、今年の登録者数は49人で昨年より4人増となっております。

それでは、別紙の選挙人名簿をご覧ください。

3頁の方に選挙人名簿登録者の内訳ということで記載してございますが、人数の誤りがございましたので、訂正をお願いします。15番の方の性別が違っておりますので、性別では男45人、女4人、合計49人となります。申し訳ございませんでした。

以上で、議案第42号の説明を終わりますので、内容のご確認等よろしくお願い致します。

近藤委員長

はい。それでは、選挙人名簿の方も確認いただきながら、ご意見、ご質問等ございましたらお願い致します。

(各委員、暫時選挙人名簿等を確認)

- 川田委員 新しく登録になった方は、自己申請のあった方ですか。
- 清水書記 自己申請の方もおりましたし、漁業の正組合員名簿に新たに登録されて、職権登録した方もおります。
- 川田委員 わかりました。
- 清水書記 ちなみに、漁業の正組合員資格が選挙権の資格要件と同じでございますまして、申請がない場合でも、調査の上職権で補充登録することにしております。
- 川田委員 はい。
- 田村委員 選挙権の要件に、1年に90日以上漁船を使用する漁業を営み、とありますが、名簿に登録される方は全員漁船を所有しているのですか。
- 清水書記 はい、そうです。
- 加賀谷委員 1世帯3人登録となっているものもありますね。
- 清水書記 家族従事者については、それぞれ全員が漁船を所有していなくても、海産物の引き上げとか網の仕立てといった陸上作業も換算されますので、合計で90日以上であれば良いことになっております。
- 近藤委員長 皆さん、他に何かご質問等ありませんか。
(「特にありません。」の声有り。)
- 近藤委員長 それでは、議案第41号を原案どおり決定してよろしいでしょうか。
(「異議ありません。」の声有り。)
- 近藤委員長 はい。ご異議無いようですので、議案第41号は原案どおり決定と致します。
- 近藤委員長 続きまして、議案第42号「秋田海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の縦覧場所について」ということで、事務局より説明をお願いします。
- 清水書記 はい。議案第42号「秋田海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の縦覧場所について」。
- 公職選挙法第23条第2項の規定により、平成28年9月1日現在で調製した秋田海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の縦覧場所を次のとおり定める。

縦覧の場所 三種町選挙管理委員会事務室

説明致します。

10月15日までに調製した海区選挙人名簿につきましては、10月20日から11月3日まで縦覧に供する必要がありますので、その場所を選管事務室に定めるものでございます。

説明は、以上でございます。

近藤委員長 はい。只今の説明について、ご意見、ご質問ございませんか。
(「ありません。」の声有り。)

近藤委員長 それでは、議案第42号を原案どおり決定してよろしいでしょうか。
(「異議ありません。」の声有り。)

近藤委員長 ご異議無いようですので、議案第42号を原案どおり決定することと致します。

以上で、本日の案件は全て終わりました。

続きまして、「その他」ということで、事務局の方から今後の日程等について説明をお願いします。

清水書記 はい。それでは、11頁の方で今後の日程について説明をさせていただきます。

(以下、資料に基づき説明)

(その後、意見交換)

近藤委員長 委員の皆さんから、他にございませんか。
(「特にありません。」の声有り。)

近藤委員長 それでは、これで本日の委員会を終了致します。

午前9時42分閉会

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

委員長 _____

署名委員 _____

署名委員 _____